

カンペグラスEP

KANPE GLASS EP

一般名称	エポキシ樹脂系ガラスフレーク塗料			
適用規格	—			
系統	特殊アミンエポキシ樹脂フレーク塗料(2液形)			
主な用途	【電力・プラント用】	【コンクリート構造物用】	など	
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス
	○	×	×	×
				コンクリート
				○

特長

- 1) 海浜工業地区などの腐食雰囲気に対する高度の抵抗性を持つ。
- 2) 耐衝撃・耐摩耗性が優れている。
- 3) 施工性に優れている。
- 4) 耐薬品性が優れている。

塗料性状	塗料密度(比重)	1.40(グレー)
	溶剤密度(比重)	0.87
	加熱残分	80%(グレー)

法令など	ベース	硬化剤
	劇物表示 (品名・含有率)	—
労安法上の 表示有害物	キシレン、エチルベンゼン	キシレン、エチルベンゼン

使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等
消防法による 危険物区分	第2石油類(非水溶性)	第2石油類(非水溶性)
硬化剤の成分 による区分	変性脂肪族ポリアミン	
ホルムアルデヒド 放散等級	—	

製品情報	ベース	硬化剤	
	荷姿	18kgセット	15.4kg
混合比(重量比)	ベース:硬化剤=6:1		
主な色(色相)	グレー、ライトグレー		

素地調整

- 被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
- 水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
- 詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調合方法	ベースと硬化剤を規定の割合でよく混合し、十分に攪拌したのち使用する。		
	熟成時間	30分	※規格に規定があるものは、それに準拠してください。	
	使用シンナー	テクトEP 内面用シンナー		
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~3wt% ハケ・ローラー: 0~3wt%		
	エアレススプレー	2次圧	15Mpa(150kg/cm ²)以上	
	塗装条件	チップNo.	163-531~735 (日本グレイ社製)	

カンペグラスEP

KANPE GLASS EP

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	350	525	800
ハケ・ローラー塗り	150	225	300

注) 標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
乾燥時間	指触	5時間	5時間	3時間	2時間	2時間	
	半硬化	24時間	24時間	12時間	8時間	8時間	
標準塗装間隔 注)	最短	48時間	48時間	16時間	12時間	12時間	
	最長	10日	10日	7日	7日	7日	
可使時間		8時間	8時間	6時間	4時間	4時間	

注) 上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温5°C以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: SDジंक、エポマリンプライマー、エスコなど

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: エポマリン、レタン、セラテクトU、F中塗など

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200°C耐用、長時間 100°C耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値	希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
	0	67.8	1.5
	3	64.7	1.5

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報 ○安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
○容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
○塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件 本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の
注意事項 1) 塗料取り扱い時、塗装中および養生中は換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
2) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
3) エアレス塗装作業において休止回数が増えるとフットボール部に塗料の堆積が生じ、作動しにくくなりますので注意してください。
4) エアレス塗装の際、塗料組成の影響により機器の摩耗劣化が生じます。機器の保守、管理に支障がでることがありますのでご注意ください。
5) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
6) 内容物の適性については、当社にお問い合わせください。
7) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データシート)を参照してください。